

ボクシング実施に向けた取組について

1 経緯

- 2017年12月
国際オリンピック委員会(IOC)が国際ボクシング協会(AIBA)に対し、組織統括等に問題があるとして、ボクシングをオリンピック実施競技から除外する可能性を示唆。2018年1月までに報告書の提出を指示。
AIBAは期日までに報告書を提出するが、IOCは報告書の再提出を求めた。
- 2018年7月
5月・7月に行われたIOC理事会で審議が行われ、AIBAに対し更なる改善を求め、継続審議とされた。
- 2018年10月
IOCはAIBAに対し、オリンピック実施競技から除外する可能性を再警告。11月末～12月に東京で行われる理事会にて再審議することとなった。

2 ボクシング競技存続に向けた署名活動について

国内のアマチュアボクシング統括団体である一般社団法人日本ボクシング連盟では、競技存続に向けた署名活動を全国で展開し、IOCに提出することを決めた。

この活動に競技会場となる国技館を擁する本区も賛同し、地域の熱意で国技館でのオリンピックを実現させ、区の発展や地域活性化につなげられるよう、オールすみだで連携して署名活動を実施した。

- 実施期間
平成30年10月22日～11月29日
- 実施結果
集筆数:21,323筆(区内活動分)
- 実施方法
町会・自治会による署名活動
墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会をはじめとする関係団体による署名活動
墨田区議会による署名活動
街頭署名活動

3 決起大会の開催について

平成30年11月30日に都内で行われるIOC理事会に向け、競技実施を願う民意を強くアピールするため、(一社)日本ボクシング連盟との共催により決起大会を開催した。

- 概要

- 日時:平成30年11月29日(木) 午後7時～8時
- 会場:東京スカイツリーイーストタワー
- 主催:墨田区
- 共催:一般社団法人日本ボクシング連盟
- 出席者(一部)

- 【主催】

墨田区長 山本 亨

- 【共催】

一般社団法人日本ボクシング連盟 会長 内田 貞信

一般社団法人日本ボクシング連盟 副会長 菊池 浩吉

- 【スペシャルゲスト】

ガッツ 石松

- 【ボクサー】

成松 大介(リオデジャネイロオリンピック出場)

堤 駿斗(2016年アマチュアボクシング世界ユース選手権優勝) 他 多数

- 結果

テレビ報道計7番組以上、新聞報道計15紙のほか、各社ネットニュースに掲載され、幅広い世代に「すみだはボクシング」をPRすることに成功した。

4 IOC理事会の審議結果について

平成30年11月30日に都内で行われたIOC理事会では、ボクシングに関しても審議が行われたが、AIBAの組織統治等を引き続き問題視し、東京オリンピックでの実施可否については結論が持ち越された。

今後、IOCによりAIBAに対する調査を行った後、2019年6月のIOC総会にて決定される見込みとなっており、この調査を東京オリンピックでの競技実施、アスリート保護を目的としたものであるという見解を示し、トーマス・バッハ会長は「東京大会での実施に向けて最善を尽くす」と表明している。